

1. 土地・気象

1-1. 市域の変遷 (I)

本表の編入面積は、小数点以下第3位を4捨5入して算出した。なお編入面積を累計しても4捨5入の関係で必ずしも累計面積に一致しない。
(単位 km²)

編入年月	累計面積	編入面積	編入地
明治22年10月	13.34	—	市制施行
29年3月	14.14	0.80	愛知郡御器所村大字前津小林を編入
31年8月	16.28	2.15	愛知郡那古野村および古沢村大字東古渡を編入
40年6月	17.54	1.25	愛知郡熱田町を編入
40年7月	31.92	14.39	愛知郡小碓村大字熱田新田東組、千年、熱田前新田、稲永新田を編入
40年11月	32.86	0.93	千年および熱田前新田地先公有水面埋立地を編入
42年10月	34.12	1.27	愛知郡千種町の一部および御器所村の一部を編入
43年3月	37.34	3.22	南区千年地先公有水面埋立地を編入(東築地)
大正4年12月	37.35	0.01	南区稲永新田地先公有水面埋立地を編入
10年2月	38.26	0.91	愛知郡笠寺村大字笠寺および本星崎地先公有水面埋立地を編入
10年8月	149.56	111.30	隣接十六か町村の編入——愛知郡千種町、東山村、御器所村、呼続町、常磐村、小碓村、荒子村、八幡村、愛知町、中村、笠寺村および西春日井郡枇杷島町、金城村、清水町、杉村、六郷村
昭和2年12月	150.35	0.79	南区本星崎地先公有水面埋立地を編入(昭和町)
3年3月	150.36	0.01	愛知郡天白村大字八事を広路町および弥富町に編入
4年7月	150.72	0.36	南区鳴尾町字神徳地先公有水面埋立地を編入(船見町)
5年6月	150.74	0.01	西春日井郡庄内町堀越を枇杷島町に編入
6年1月	151.04	0.30	名古屋港東突堤端公有水面埋立地を編入(潮見町)
6年7月	151.04	0.00	愛知郡下之一色町の一部を東起町に編入
7年12月	151.04	0.01	西春日井郡萩野村大字辻村を上飯田町および下飯田町に編入
10年6月	151.09	0.05	南区西倉町および海岸通地先公有水面埋立地を編入(海岸通6丁目)
11年4月	151.10	0.01	名古屋港内第十号埋立地西公有水面埋立地を編入(汐止町)
11年12月	151.26	0.17	南区潮見町および船見町地先公有水面埋立地を編入(潮見町、船見町)
12年3月	160.10	8.84	隣接三か町村の編入——愛知郡下之一色町および西春日井郡庄内町、萩野村
12年6月	160.14	0.03	海岸通地先公有水面埋立地を編入(海岸通3丁目)
12年11月	160.16	0.03	海岸通地先公有水面埋立地を編入(海岸通3丁目)
15年2月	161.09	0.93	名古屋港内第十号埋立地西南公有水面埋立地を編入(空見町、潮風町、汐止町)
17年3月	161.54	0.46	名古屋港内第十号埋立地公有水面埋立地を編入(汐風町)
18年4月	161.62	0.07	名古屋港内第十号埋立地公有水面埋立地を編入(潮風町)
18年4月	161.76	0.14	名古屋港内庄内川左岸地先公有水面埋立地を編入(汐止町)
25年10月	164.35		市建設局測定値より建設省地理調査所測定値に切り替える。
30年4月	208.06	43.71	隣接二か村の編入——愛知郡猪高村、天白村
30年10月	250.15	42.09	隣接四か町村および埋立地の編入——西春日井郡楠村、山田村、海部郡富田町、南陽町および昭和30年8月編入の港区大江町東側地先公有水面埋立地(0.027km ²)、同区築地町地先公有水面埋立地(0.006km ²)の両面積を含む。
30年10月	250.07		この面積は、「昭和30年国勢調査報告第一巻」によって公表された確定面積である。
31年12月	250.26	0.19	港区汐止町および空見町地先公有水面埋立地を編入
32年9月	250.28	0.02	港区大江町地先公有水面埋立地を編入
33年8月	250.54	0.26	港区潮見町地先公有水面埋立地を編入
33年9月	250.62	0.08	港区一洲町および潮風町地先公有水面埋立地を編入
33年12月	250.63	0.01	港区潮風町および汐止町地先公有水面埋立地を編入
34年6月	250.73	0.10	港区潮見町地先公有水面埋立地を編入
35年6月	250.81	0.08	港区昭和町地先公有水面埋立地を編入
37年4月	252.01	1.20	港区大江町、昭和町、船見町および潮見町地先公有水面埋立地、港区木場町と南区豊田町に囲まれた公有水面埋立地を編入
38年2月	286.02	34.01	守山市を編入
38年4月	312.32	26.30	愛知郡鳴海町を編入
39年2月	312.66	0.34	港区潮見町および空見町地先公有水面埋立地を編入
39年12月	324.05	11.39	知多郡有松町、大高町を編入

1-1. 市 域 の 変 遷 (II)

1-1表(I)の頭注参照。

(単位 km²)

編入年月	累計面積	編入面積	編入地域
昭和40年6月	324.06	0.01	港区東築地町地先公有水面埋立地を編入
40年10月	325.19		この面積は建設省国土地理院の「昭和40年全国都道府県市区町村別面積調」によるものである。
41年6月	325.43	0.24	港区空見町地先公有水面埋立地を編入
42年4月	325.56	0.13	港区潮風町地先公有水面埋立地を編入
43年10月	325.63	0.07	港区築地町および空見町地先公有水面埋立地を編入
45年1月	325.66	0.03	港区潮風町、空見町および汐止町地先公有水面埋立地を編入
46年10月	325.88	0.22	港区空見町地先公有水面埋立地を編入
47年5月	325.97	0.09	港区空見町地先公有水面埋立地を編入
49年7月	326.04	0.07	港区船見町地先公有水面埋立地を編入
49年11月	326.25	0.21	港区船見町地先公有水面埋立地を編入
52年1月	326.35	0.10	港区空見町および大江町地先公有水面埋立地を編入
54年3月	327.56	1.21	港区金城ふ頭二丁目地先公有水面埋立地を編入
56年7月	327.63	0.07	港区港町および西倉町地先公有水面埋立地を編入
58年3月	327.91	0.28	港区金城ふ頭三丁目に隣接する公有水面埋立地を編入
63年10月～	326.37		この面積は建設省国土地理院の「昭和63年全国都道府県市区町村別面積調」によるものである。

(建設省国土地理院、総務局企画部統計課)

1-2. 区 別 面 積 の 推 移

(単位 km²)

区 別	昭和 30年10月	昭和 38年2月	昭和 38年4月	昭和 39年12月	昭和 40年10月	昭和 50年2月	昭和 52年10月	昭和 54年10月	昭和 56年10月	昭和 58年10月	昭和 63年10月～
全 市	250.07	286.02	312.32	324.05	325.19	326.25	326.35	327.56	327.63	327.91	326.37
千種区	36.02	36.47	36.47	36.47	36.02	18.51	18.59	18.59	18.58	18.55	18.24
東 区	7.68	7.68	7.68	7.68	7.68	7.68	7.68	7.68	7.67	7.70	7.72
北 区	17.57	17.57	17.57	17.57	17.57	17.57	17.61	17.61	17.62	17.62	17.55
西 区	17.57	17.57	17.57	17.57	17.57	17.57	18.00	18.00	18.00	18.00	17.90
中村区	16.19	16.19	16.19	16.19	16.19	16.19	16.31	16.31	16.31	16.31	16.32
中 区	11.22	11.22	11.22	11.22	11.22	11.22	9.52	9.52	9.52	9.52	9.36
昭和区	34.36	33.91	33.91	33.91	34.36	10.87	10.92	10.92	10.92	10.92	10.93
瑞穂区	10.01	10.01	10.01	10.01	11.11	11.11	11.36	11.36	11.36	11.36	11.23
熱田区	9.15	9.15	9.15	9.15	9.15	9.15	8.13	8.13	8.13	8.13	8.16
中川区	32.01	32.01	32.01	32.01	32.00	32.00	32.40	32.40	32.40	32.40	32.01
港 区	39.41	41.35	41.35	41.69	41.74	42.80	44.16	45.37	45.44	45.72	45.57
南 区	18.88	18.88	18.88	18.88	18.88	18.88	18.56	18.56	18.56	18.56	18.47
守山区	—	34.01	34.01	34.01	34.01	34.01	33.83	33.83	33.82	33.82	34.02
緑 区	—	—	26.30	37.69	37.69	37.69	37.94	37.94	37.92	37.92	37.86
名東区	—	—	—	—	—	19.40	19.67	19.67	19.69	19.70	19.46
天白区	—	—	—	—	—	21.60	21.67	21.67	21.69	21.68	21.57

注1) 昭和38年2月15日守山市を編入し守山区を設置、昭和38年4月1日愛知郡鳴海町を編入し緑区を設置、14区制とし、昭和50年2月1日千種区、昭和区を区分し、名東区、天白区を設置して現在の16区制となった。

2) 昭和30年は国勢調査報告、昭和40、52、54、56、58、63年は「全国都道府県市区町村別面積調」(建設省国土地理院)による(各年10月1日)。

3) 上記以外の区別面積の変動は、編入・交換によるものである。
(建設省国土地理院、総務局企画部統計課)

1-3. 位置, 高 低

本表の位置及び最高地は、昭和60年測量の都市計画基本図（ $S=1/2,500$ ）による。最低地は水準測量成果書による市内水準点の標高のうち最低のものであり、最低地点とは異なる。海拔は、東京湾平均海面（T・P）によるものであり、国土地理院基準水準点「基39」の標高を38.6468mとして算出したものである。

(単位 m)

平成3年

名 古 屋 市 の 位 置						市 庁 の 位 置			
方 位	地 名	経 度	緯 度	方 位	地 名	経 度	緯 度	地 名	経 緯 度
度 分 秒			度 分 秒			度 分 秒			度 分 秒
極 東	守山区大字上志段味字東谷	東経 137 03 50	北緯 35 01 50	極 南	港区金城ふ頭三丁目	東経 136 54 34	北緯 35 10 42	中区三の丸三丁目1番1号	東経 136 54 34
極 西	港区南陽町大字西福田字雁島	東経 136 47 41	北緯 35 15 26	極 北	守山区大字上志段味字東谷	東経 136 54 34	北緯 35 10 42		
最 高 地 名				海 面 よ り の 高 度				最 低 地 名	
守山区大字上志段味字東谷				198.30				港区新茶屋四丁目	
								-1.73	

(計画局都市計画部都市計画課、環境保全局公害対策部水質保全課)

1-4. 広 ば う

本表は、昭和60年測量の都市計画基本図（ $S=1/2,500$ ）によるもので、各極端における経線間（東西）、緯線間（南北）の距離である。

(単位 km)

平成3年末

区 別	方 位	地 名	距 離	方 位	地 名	距 離
名 古 屋 市	極東 極西	守山区大字上志段味字東谷 港区南陽町大字西福田字雁島	24.53	極南 極北	港区金城ふ頭三丁目 守山区大字上志段味字東谷	25.09
千 種 区	極東 極西	星ヶ丘2丁目 花田町	6.56	極南 極北	萩岡町 東千種台	5.08
東 区	極東 極西	砂田橋五丁目 泉一丁目	5.40	極南 極北	葵三丁目 矢田町2丁目	3.35
北 区	極東 極西	矢田町1丁目 福德町	4.76	極南 極北	大杉一丁目 楠町大字如意字御花街道	6.47
西 区	極東 極西	山田町大字大野木字洗堰 野南町	4.77	極南 極北	名駅一丁目 山田町大字比良字北出口	7.06
中 村 区	極東 極西	那古野一丁目 横井町字西坂海道	5.83	極南 極北	横井町字村西 枇杷島町字池洲	5.15
中 区	極東 極西	新栄三丁目 栄一丁目	3.45	極南 極北	正木四丁目 本丸	5.00
昭 和 区	極東 極西	天白町大字八事字裏山 福江一丁目	5.71	極南 極北	広路町字雲雀ヶ岡 車田町1丁目	2.66
瑞 穂 区	極東 極西	弥富町 浮島町	4.60	極南 極北	明前町 洲雲町1丁目	3.53
熱 田 区	極東 極西	花表町 八番二丁目	3.17	極南 極北	千年二丁目 桜田町	3.56
中 川 区	極東 極西	柳川町 福島二丁目	9.24	極南 極北	下之一色町字三角 富田町大字千音寺字烏帽子	6.48
港 区	極東 極西	本星崎町 南陽町大字西福田字雁島	10.95	極南 極北	金城ふ頭三丁目 南陽町大字福田字大儘	10.36
南 区	極東 極西	大堀町 七条町3丁目	4.54	極南 極北	元柴田西町4丁目 明治一丁目	5.49
守 山 区	極東 極西	大字上志段味字東谷 大字瀬古字川西	12.40	極南 極北	四軒家二丁目 大字上志段味字東谷	7.92
緑 区	極東 極西	鳴海町字白土 鳴海町字天白川内	10.75	極南 極北	野末町 鳴海町字神ノ倉	7.80
名 東 区	極東 極西	猪高町大字上社字井堀 平和が丘一丁目	4.50	極南 極北	梅森坂五丁目 猪高町大字猪子石原字北川原	6.79
天 白 区	極東 極西	天白町大字平針字荒池下 古川町	6.50	極南 極北	古川町 天白町大字八事字裏山	5.69

(計画局都市計画部都市計画課)

1-5. 都市計画区域面積

(単位ha)

各年10月1日

年・区別	都市計画区域			用途地域								
	総面積	市街化区域	市街化調整区域	総面積	第1種 住居専用地域	第2種 住居専用地域	住居地域	近隣 商業地域	商業地域	準工業 地域	工業地域	工業 専用地域
昭和62年	32 791	30 134	2 657	30 134	5 880	2 351	10 428	2 413	2 350	3 436	2 635	641
63	32 791	30 134	2 657	30 134	5 878	2 351	10 430	2 413	2 350	3 436	2 635	641
平成元年	32 637	30 134	2 503	30 134	5 867	2 351	10 429	2 425	2 350	3 436	2 635	641
2	32 637	30 134	2 503	30 134	5 867	2 351	10 429	2 425	2 350	3 436	2 635	641
3	32 637	30 135	2 502	30 135	5 867	2 351	10 429	2 425	2 350	3 436	2 635	642

(計画局計画部都市計画課)

1-6. 民有地面積

本表は、各区固定資産課税台帳によって集計したものであり、免税点以下の土地を含み、公衆用道路、保安林、学校用地等課税対象外の土地は含まない。

(単位 a)

各年1月1日

年・区別	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	鉄道軌道用地	雑種地
昭和63年	1 918 629	146 056	179 274	1 278 282	3 093	117 041	10 603	7 920	176 360
64	1 934 956	138 659	175 525	1 291 829	3 238	110 552	9 893	28 186	177 074
平成2年	1 928 594	130 622	170 714	1 303 360	3 125	108 184	9 416	27 984	175 189
3	1 925 343	125 477	164 524	1 310 691	2 924	105 705	9 277	28 192	178 554
4	1 912 364	118 516	152 271	1 324 202	2 436	86 448	9 528	28 497	190 466
千種区	87 952	19	905	80 700	—	1 759	84	504	3 981
東区	43 359	—	27	42 098	—	3	—	771	460
北区	97 043	5 780	4 231	80 195	—	—	1	534	6 302
西区	106 030	2 336	5 968	88 392	—	—	46	2 611	6 677
中村区	100 815	2 752	7 585	79 183	—	—	34	5 257	6 004
中区	42 991	—	—	42 446	—	—	—	515	30
昭和区	68 590	—	391	64 292	—	912	—	—	2 995
瑞穂区	72 625	—	1 455	66 492	—	1 050	—	141	3 487
熱田区	43 977	—	30	40 919	—	—	—	2 084	944
中川区	196 216	27 874	23 444	121 284	1	28	276	5 501	17 808
港南区	245 713	45 819	13 871	161 225	123	—	—	2 517	22 158
南区	116 098	117	3 070	98 135	1 412	14	—	3 538	9 812
守山区	199 414	23 044	17 954	96 253	70	30 868	3 574	1 987	25 664
緑区	254 171	9 557	45 025	120 773	775	29 216	3 285	2 537	43 003
名東区	110 524	1 009	9 409	71 999	55	5 542	1 632	—	20 878
天白区	126 846	209	18 906	69 816	—	17 056	596	—	20 263

(財政局主税部固定資産税課)

1-7. 河川

(単位 延長m)

平成3年度末

種別	河川数	延長		河川名
		左岸	右岸	
総数	80	246 759	216 741	
一級河川	16	109 223	89 900	一級河川 庄内川、矢田川、香流川、隅除川、天神川、新川、大山川、合瀬川、水場川、堀川、新堀川、八田川、新地藏川、長戸川、野添川、守山川
二級河川	13	68 386	59 396	二級河川 天白川、扇川、大高川、瀬木川、手越川、藤川、植田川、繁盛川、山崎川、鞍流瀬川、日光川、福田川、戸田川
準用河川	27	35 531	33 826	
普通河川 (主なもの)	24	33 619	33 619	

注) 左岸と右岸(いずれも下流に向って)の延長に差のあるのは、市域界が河川に入りこんでいる所等があるためである。

(土木局河川部計画課)

1-8. 気温, 湿度, 降水量, 日照時間

年 別	気 温					平 均 湿 度	降 水 量			日照時間	日照率
	平 均	最 高	月 日	最 低	月 日		年 間	最大日量	月 日		
	℃	℃		℃		%	mm	mm		時間	%
昭 和 41 年	14.8	38.0	8. 8	- 5.5	2. 8	72	1 656	70.9	9.19	2 198	50
42	15.0	35.6	8. 6	- 7.0	1.17	71	1 602	90.3	6.28	2 257	51
43	14.6	36.0	7.22	- 4.5	2.13	73	1 415	69.0	8.26	2 255	51
44	14.8	36.4	8.13	- 5.0	1.16	73	1 387	69.5	7. 8	2 221	50
45	14.5	36.8	8. 5	- 5.9	1.18	73	1 634	123.5	7.30	2 066	47
46	14.8	35.6	7. 5	- 5.2	2.11	72	1 878	202.0	8.30	2 170	49
47	15.1	36.1	8. 8	- 2.3	3. 2	71	1 880	113.5	9. 9	2 119	48
48	14.7	36.2	8.10	- 5.7	12.25	68	1 166	60.0	5. 2	2 232	50
49	14.3	34.7	8.15	- 5.3	1.29	70	1 792	98.5	7.25	2 082	47
50	14.9	34.9	8. 3	- 4.4	2.18	71	1 608	116.5	7. 4	2 261	51
51	14.4	35.2	8.22	- 4.5	12.30	69	2 029	161.5	9.12	2 025	46
52	15.4	37.1	8. 3	- 6.0	2.16	66	1 367	84.0	11.17	2 208	50
53	15.4	37.7	8. 1	- 4.9	2. 4	65	1 104	83.0	7.13	2 223	50
54	15.9	36.0	8. 1	- 1.8	{1.20 1.23 2. 2	66	1 527	94.0	9.24	2 122	48
55	14.7	35.8	7.21	- 4.0	2.17	66	1 727	108.5	8.26	2 017	45
56	14.3	36.0	7.20	- 6.2	2.27	68	1 525	72.5	9.25	2 185	49
57	15.2	33.9	8. 7	- 4.9	1.30	69	1 601	91.0	9.12	2 084	47
58	15.4	38.2	8.15	- 4.6	1.23	68	1 628	166.0	9.28	2 256	51
59	14.8	37.1	8. 8	- 4.6	{1. 6 2. 7	69	1 105	91.0	7. 8	2 155	49
60	15.5	36.1	7.30	- 5.7	1.31	69	1 590	89.5	6.25	2 130	48
61	14.9	36.2	9. 2	- 3.6	1. 7	65	1 350	87.5	6.29	2 297	52
62	15.9	36.1	7.29	- 3.5	1.21	64	1 235	118.5	9.25	2 179	49
63	15.0	35.9	7. 9	- 3.7	2. 4	65	1 590	137.0	9.25	2 018	45
平 成 元 年	16.0	35.1	8. 5	- 2.3	1.29	66	1 644	126.0	9. 3	2 151	49
2	16.6	36.9	8. 4	- 3.6	1.25	66	1 904	143.0	9.17	2 181	50
3	16.1	36.1	{7.23 8. 1	- 3.3	2.26	69	1 990	217.5	9.19	1 948	45

注1) 観測地点は名古屋地方気象台(名古屋市千種区日和町2丁目18番地)である。

2) 気温の平均は、毎月の月平均気温(平成2年以前は、3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24時の8回の平均値を、平成3年以降は1時から24時までの毎正時24回の平均値を日平均気温とし、日平均気温の合計をその月の日数で除したものが月平均気温である)の合計を12で除した値である。

3) 平均湿度は2)に準ずる。

4) 日照率は日照時間の年可照時間(天文学上日照があるはずの時間)に対する比率である。

5) 昭和60年以前の日照時間はジョルダン式の、昭和61年以降は回転式の日照計による。

(名古屋地方気象台)

1-9. 月 別 気 象 概 況

年 月 別	平均気温	平 均 最高気温	平 均 最低気温	平均湿度	最小湿度 (極)	平均雲量	平均風速	降 水 量	日照時間 (回転式)
	℃	℃	℃	%	%	0~10	m/s	mm	時間
平 成 3 年	16.1	20.6	12.4	69	15	6.6	3.0	1 990.0	1 948.3
1 月	4.6	8.9	1.3	66	29	5.2	3.5	44.0	183.4
2 月	4.2	8.6	0.5	62	24	5.4	3.6	67.5	168.8
3 月	9.7	14.4	5.9	64	18	6.6	3.3	182.0	161.6
4 月	15.2	20.7	10.5	64	15	6.4	3.1	103.0	190.9
5 月	18.6	23.5	14.3	66	22	7.2	2.9	99.5	182.5
6 月	23.8	27.9	20.3	76	30	8.4	2.6	286.5	135.0
7 月	26.6	31.0	23.3	75	40	8.3	2.7	256.5	127.8
8 月	26.8	31.2	23.7	72	41	7.4	2.8	194.0	176.3
9 月	24.8	29.0	21.4	73	26	7.3	2.9	348.0	141.6
10 月	17.9	21.8	14.8	73	25	7.1	2.9	206.5	132.2
11 月	12.2	16.8	8.1	66	24	5.2	2.6	132.5	175.4
12 月	8.2	12.9	4.4	68	31	4.7	2.6	70.0	172.8

注1) 平均気温, 平均最高気温, 平均最低気温, 平均湿度, 平均雲量, 平均風速の年平均については、毎月の平均値を合計し、12で除した値である。

2) 雲量は、全天に対する雲のしめる割合で、雲が全天をおおっている状態を10とする。3, 9, 15, 21時の4回の観測値の平均である。

3) 平均風速は24時間の全風程より求めた平均である。

4) 降水量は月間および年間の合計値である。

5) 日照時間は月間および年間の合計値である。

(名古屋地方気象台)

1-10. 天 気 日 数

年 別	雲 量 別		現 象 別				
	雲量 1.5 未満	雲量 8.5 以上	雨	雪	雷 電	暴 風	霧
昭和62年	36	117	108	17	14	17	12
63	33	131	118	17	15	22	15
平成元年	40	137	127	2	15	17	20
2	30	122	125	13	16	21	12
3	31	138	128	18	13	15	27

注) 雨は降水量 0.5mm 以上の日であり、暴風は最大風速が毎秒10m 以上の日である。
(名古屋地方気象台)

1-11. 震 度 別 地 震 回 数

年 別	総 数	無 感	有 感				
			総 数	震 度 I	震 度 II	震 度 III	震 度 IV 以上
昭和62年	92	82	10	7	3	—	—
63	71	67	4	3	—	1	—
平成元年	102	91	11	8	3	—	—
2	92	84	8	4	4	—	—
3	46	41	5	3	2	—	—

注) 無感は人体に感じない地震のうち59 型直視式電磁地震計(100倍) に最大全振幅 3mm 以上を記録した地震の回数である。
(名古屋地方気象台)

1-12. 台 風

本表は、昭和34年から昭和56年までは名古屋での最低気圧 980hPa 以下、最大風速 25m/s 以上であった台風のみ掲げた。また昭和57年以降については最大風速 13m/s 以上又は総降水量 100mm 以上のいずれかの条件を満たしたものを掲げた。

台 風 来 襲 年 月 日	台 風 名	名 古 屋 の 最 低 気 圧		名 古 屋 の 最 大 風 速			名古屋の 最 大 瞬間風速	名古屋の 総 降水量	台 風 の 経 路
		示 度	起 時	風 速	風 向	起 時			
昭和 34年 9 月 26 日	伊勢湾台風 (5915)	hPa	日 時 分	m/s		日 時 分	m/s	mm	潮岬の西方15kmに上陸し名古屋 の30km西方を通り日本海へ。
		958.5	26.21.27	37.0	S S E	26.22.00	45.7	165.7	
36年 9 月 16 日	第二室戸台風 (6118)	971.7	16.15.09	28.7	S S E	16.15.00	42.0	95.1	室戸岬に上陸し能登半島を通り 北海道へ。
47年 9 月 16 日	7220	974.8	16.22.30	26.3	S E	16.22.30	40.4	101.5	潮岬付近に上陸し、三重、岐阜 県を通って富山湾に抜ける。
57年 8 月 1 日 2 日	8210 と前線及び低気圧	975.1	2.01.20	9.4	S S W	2.03.20	18.4	126.0	潮岬の南東海上を北上して伊良 湖岬付近に上陸、更に北上して 石川県から日本海に入った。
57年 9 月 11 日 12 日	8218 と前線	984.1	12.17.05	10.3	N	12.13.10	19.0	134.0	潮岬の南東海上を北上して、御 前崎付近に上陸、関東から東北 を縦断して北海道へ向かう。
58年 8 月 16 日 18 日	8305	982.0	17.06.20	7.2	W N W	17.12.10	12.7	100.5	南海上を北上し渥美半島に上陸 足跡みと迷走をつづけ静岡・関東 地方を通り鹿島灘に抜けた。
62年 10 月 16 日 17 日	8719	991.6	17.03.20	15.2	S S E	17.03.30	31.1	17.0	室戸市付近に上陸し、日本海へ 抜け北東進し、青森・秋田県境 付近に再上陸。
平成 元年 8 月 27 日	8917	985.9	27.17.00	13.2	S S E	27.16.20	26.1	51.0	室戸市付近に上陸後北東進し、 大阪市付近に再上陸、富山湾へ 抜けた。
2年 9 月 19 日 20 日	9019	972.5	20.00.39	20.1	S S E	20.00.20	40.1	95.0	和歌山県白浜町付近に上陸、本 州を北東に進み、若手県沖に抜 ける。
3年 9 月 18 日 19 日	9118 と前線	987.6	19.15.30	7.7	W N W	19.17.20	14.3	242.0	八丈島付近、銚子沖を通して、 日本の東海上を北東に進む。
3年 9 月 26 日 28 日	9119	997.0	27.23.20	15.4	S S E	27.23.10	30.4	10.5	九州に上陸後、日本海を北東に 進み、北海道に再上陸。

注) 台風名の数字は前 2 桁は西暦年号を表わし、あとの 2 桁が台風の号数である。
(名古屋地方気象台)